

誰もが安心して暮らせる  
まちづくりを目指して

山田 繁子 議員



子ども防災サミットの様子

問 はじめに、スピーディーな市職員の災害時の対応策について質問  
災害時の市職員の対応マニュアルを作成し、全職員のモチベーションを高める取り組みについて、災害時に職員一人一人がどのような役割を担っていくのか。私は平成24年2月議会的一般質問で先進地の取り組みを紹介するなど、その後も再三質問させて頂いた。「庁内検討会議の中において災害時の対応マニュアルとすべく作成に努めていく」との答弁があったが未だ取り組みがされていないが、どうなっているのか。  
答 地域防災計画作成に向けた検討会議や作業部会の意見を参考に職員の災害時対応マニュアルの作成を進めていく。  
問 職員による防災訓練について、市原市の事例をあげながら答弁を求めた。想定を変えながら訓練を繰り返す市原市では、どんな災害でも対応できる能力を身に付けることができる。と市の担当者が話されている。実践的に初動対応の訓練を繰り返すことで、本市においても災害時には多くの市民の安心・安全への意識の向上につながる。本市の今後の取り組みをどのように考えているのか。  
答 市の防災訓練において職員による災害対策本部設置や避難所開設訓練を実施してきたが、市防災計画に基づく職員参集訓練を近いうちに実施したい。

問 この訓練は以前にも行っていたと思う。職員が休日や夜間の対応、また災害時、職場にいる時の対応では全く違う。職員参集訓練も含めた中で勤務時間内等も視野に入れての訓練、来庁者の命を守る訓練の取り組みを要望する。

次に防災の日を決め、毎月一回防災行政無線等を活用し、市民への防災意識の高揚を図る取り組みについて。

東日本大震災から間もなく3年、日本中は地震、津波、台風に又豪雪等、防水害対策の意識は大きく変わってきた。防災の日を決め、子供向けや高齢者等の目線に合わせた防災情報に係る啓蒙の伝達等、徹底した市民の命を守る啓蒙の日として取り組まれたらどうか。

先進地等の事例を参考に今後研究していきたい。

輝く女性性は地域を変える。活躍する女性の声を市政に生かす男女共同参画社会の推進に向けて、女性の視点を重視し、市政に反映させる女性会議の取り組みをしてはどうか。  
答 今後のまちづくりを推進するうえで、女性の視点や声を市政に生かす事は重要な事であると認識している。各種各方面で活躍活動されている代表と対話していく機会をしっかりと作っていく。

防災意識の向上を目指し、今後の子供防災サミットの取り組みについてどのように考えているのか。  
答 「子どもと市長との懇談会」の中で「防災」に関する項目を入れて実施していくことを検討していく。その他「協働の街づくりについて」「ソーラー誘導標識による、夜間、津波から命を守る取り組みについて」質問しました。

「議会だより」について  
皆様のご意見、ご感想  
をお寄せください。

議会事務局  
☎ (70) 0390  
FAX (72) 9168  
E-mail:gikai@city.oamishirasato.lg.jp

平成26年 市議会第1回定例会 採決結果一覧

Table with columns for item number, item name, and 24 council members' votes (賛成, 反対, 欠席, 可決, 承, 同意, 否決, 結果). Includes a legend for symbols and a note about the Mayor's vote.

編集後記

姉妹町の中条町は住民目線にとってもこだわって議会だよりを編集しています。表紙の「あなたと議会をつなぐ情報誌」というサブタイトルにそのこだわりが象徴されています。表紙を開くと、傍聴者で埋まった傍聴席の写真が目を引き、自然に住民の視線を意識させられます。一般質問のページタイトルも「中条町のことが聞きたい！一般質問」と住民目線です。図書カードが当たる「なかのじよう議会クイズ」が毎号載っており、応募されたハガキは「読者のお便り」として紹介されます。子ども達からの応募が多いようのでびつくりします。そう言えば、表紙も番号ほとんど子ども達の写真です。実はこの素晴らしい議会だよりをそっくり真似ようという事で、先方の了解も取り付け、少しずつ真似をして来ました。これからはA4へのサイズ変更も含めて改善を図って行きたいと思っています。皆様のご意見もお聞かせ頂ければ幸いです。

(一色)

議会だより編集委員会

- 委員長 小金井 勉
副委員長 佐久間 久良
委員 石渡 登志男
委員 一色 忠彦
委員 堀本 孝雄
委員 前之園 孝光
委員 加藤岡 美佐子

議会事務局 Tel (70) 0390